



かわちながの 市議会 だより

No.257



市議会HP

令和4年9月発行

発行／大阪府河内長野市議会
編集／広報委員会

広報委員会

委員長 橋上和美
副委員長 奥井良一
委員 奥村亮実
委員 丹羽実



「里の秋」日野（令和3年度観光写真コンクール入賞作品）

令和4年

6月定例会

- 河内長野市UR南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会設置条例を制定
- 河内長野市監査委員の選任について同意

令和4年6月第2回定例会が6月13日から6月30日までの18日間開かれました。

市長からは、令和3年度予算繰越計算書の報告4件、人権擁護委員の推薦などの人事案2件、河内長野市手数料徴収条例などの条例案2件、令和4年度一般会計

補正予算などの予算案4件、その他2件の合計14件の議案が提出されました。これらは、いずれも可決（了承・同意・適任と）されました。
（議案等の概要は2頁に掲載）

議案等の概要

議案等番号	件名	議決結果	議案等の概要
報告第11号	令和3年度河内長野市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	了承	住民記録システム改修事業ほか11事業に係る繰越明許費について繰越計算書を調製した。
報告第12号	令和3年度河内長野市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	了承	トンネル照明施設更新事業において、新型コロナウイルス感染防止のために工事を一時中断したことにより、年度内の工事完了ができなくなったことから、令和4年度へ繰越を行い、繰越計算書を調製した。
報告第13号	令和3年度河内長野市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	了承	水道事業における予算繰越について、予算繰越計算書をもって使用計画の報告を受けた。
報告第14号	令和3年度河内長野市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	了承	公共下水道事業における予算繰越について、予算繰越計算書を調製した。
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任と認める	安達 英行氏、太尾 淳子氏、垣内 孝重氏を推薦。
議案第35号	河内長野市監査委員の選任について	同意	村治 規行氏 同意。
議案第36号	河内長野市UR南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会設置条例の制定について	可決	南花台地区において、UR南花台団地集約跡地を活用し、サッカースタジアムと地域内公園を集約した新たな公園を整備するにあたり、施設の基本計画の策定に係る助言や、設計施工を行う事業者の選定などを行う附属機関を新たに設置するため、本条例を制定する。
議案第37号	河内長野市手数料徴収条例の改正について	可決	都市計画法施行規則の改正に伴い、引用する同規則の条項を改めるため本条例を改正する。
議案第38号	財産取得について	可決	消防団第6分団加賀田班及び消防団第10分団小山田班に配備されている消防車両を更新するため、総重量3.5tの消防団用CD-Ⅰ型消防ポンプ自動車を2台購入する。令和4年4月26日に指名競争入札を執行し、株式会社モリタが4,574万9,700円で落札。
議案第39号	財産取得について	可決	南出張所に配備する消防車両を更新するため、水槽付き消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型を1台購入する。令和4年4月26日に指名競争入札を執行し、長野ポンプ株式会社が4,818万8,800円で落札。
議案第40号	令和4年度河内長野市一般会計補正予算	可決	歳入歳出予算及び債務負担行為の補正。歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ3億2,348万4千円の追加で、予算総額は379億800万4千円となる。歳出の主なものとして、「デジタル田園都市国家構想」の推進のため、地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた事業の実施に要する費用として、総額1億8,335万7千円を各関係費目において計上するなど。
議案第41号	令和4年度河内長野市一般会計補正予算	可決	歳入歳出予算の補正。歳入歳出それぞれ4億5,392万9千円の追加で、予算総額は383億6,193万3千円となる。歳出の主なものとして、原油価格及び物価高騰の影響を受けている生活者や事業者に対する支援として、水道基本料金の全額を4ヶ月間減額するため1億3,372万1千円、市内事業者への支援として、1億2,975万円を計上するなど。
議案第42号	令和4年度河内長野市水道事業会計補正予算	可決	新型コロナウイルス感染症の経済的影響を踏まえ、原油価格・物価高騰等の影響を受けている生活者や事業者を支援するため、水道基本料金の全額を4ヶ月間減額することから補正を行う。収益的支出として、営業費用の業務費を料金システム改修費として109万9千円増額する。収益的支出の予算総額は23億628万3千円となる。
議案第43号	令和4年度河内長野市一般会計補正予算	可決	歳入歳出予算の補正。歳入歳出それぞれ1億5,180万円の追加で、予算総額は、385億1,373万3千円となる。府内の18歳以下の子どもたちに対し、1人あたり1万円分のギフトカードなどを配付する「大阪府子ども教育・生活支援事業」を有効に活用し、本市の「モックルコイン事業」と同時に実施することで、府市両事業の相乗効果と市内の地域経済のさらなる活性化を見込む。

議案等に対する各議員の態度(全会一致でない議案等の賛否) ○:賛成 ●:反対

議案等番号	件名	議決結果	自民党・市民クラブ・無所属議員の会					公明党				大阪維新の会				日本共産党			会派に所属しない	
			奥村亮	道端俊彦	堀川和彦	峯満寿人	桂聖	奥井良一	浦山宣之	三島克則	大原一郎	西田善延	吉竹英行	橋上和美	土井昭	駄場中大介	宮本哲	丹羽実	工藤敬子	若林靖
議案第36号	河内長野市UR南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会設置条例の制定について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○
議案第40号	令和4年度河内長野市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○

議員名(会派名)	頁	議員名(会派名)	頁
橋上 和美(大阪維新の会)	3	三島 克則(公明党)	6
吉竹 英行(大阪維新の会)	3	土井 昭(大阪維新の会)	6
西田 善延(大阪維新の会)	4	大原 一郎(公明党)	6
堀川 和彦(自民党・市民クラブ・無所属議員の会)	4	奥村 亮(自民党・市民クラブ・無所属議員の会)	7
奥井 良一(公明党)	4	道端 俊彦(自民党・市民クラブ・無所属議員の会)	7
宮本 哲(日本共産党)	5	工藤 敬子	7
峯 満寿人(自民党・市民クラブ・無所属議員の会)	5	浦山 宣之(公明党)	8
丹羽 実(日本共産党)	5	若林 靖	8

質問の映像視聴について

QRコードから各議員の質問の映像を視聴することができます。視聴の際は、データ通信料が発生する場合がありますのでご了承ください。

一般質問

6月22日と23日の2日間、16人の議員による一般質問を行いました。本紙に掲載しているのは、質問及び答弁の要点を広報委員会がまとめたものです。また、紙面の都合で質問及び答弁の一部しか掲載していません。全文は8月下旬に発行している会議録をご覧ください。

会議録は市役所1階の情報コーナーや図書館等でご覧になれます。また、市のホームページにも掲載しています。



少子高齢化に的確に対応した施策を



大阪維新の会
橋上 和美



「育み・学び・思いやりのある」施策について。

問 本市の小学校、中学校における学力向上施策について。

答 1人1台学習者用端末を活用し、学習支援ソフト等を利用した学習等、学力向上に向けたICT活用に取り組んでいる。また、新たな教員用ポータルサイトの開設で、教員のICTスキルの向上に努める。さらに、令和4年度から新たに、市立の全小中学校で書評合戦を開催する。

問 本市の合計特殊出生率が他市より低い原因と向上させるための施策は。

答 15歳から49歳までの女性の数が年々減少していることが要因の一つであり、若年世代や子育て世代の転入促進が効果的であると考える。妊娠から出産・子育てにわたる途切れのないサポートを行えるよう、「ゆめつく」と「あいつく」を設置している。今後も、様々な子育て施策を展開していく。

問 適応指導教室（ゆう☆ゆうスペース）の取り組みと、今後の展開について。

答 入室者数は年々増加している。令和4年度は指導員を増員し、受入れ体制の充実を図ってきた。施設面の老朽化等が課題であるが解決に向けて検討していく。

問 農業を未来へつなぐ施策について。

答 休耕地を活用する独自の施策は。

問 国において行われている「人・農地等関連施策の見直し」を研究していく。スマート農業について。

答 ニーズの把握と実証実験を通じて成果と課題の検証を進めるとともに、担い手不足の解消や農作業の負担軽減に取り組む。



スマート農業の一環として、水路に水位センサーを設置した実証実験が開始

赤峰市民広場産業用地化について。

問 何社を誘致し、税収、雇用増を見込んでいくか。

答 10社程度の立地を想定し、1区画4千㎡規模の企業だと、従業員数は300人から400人程度、税収は1億円程度の増加を見込む。

問 スポーツ施設の代替地について。

答 7月までに代替地の確保に努める。旧府立長野北高校跡地は、従前の府のルールに則った土日の開放だけでなく、平日も含め、さらなる有効活用を府教育庁に要望している。短期的な代替地の確保と並行し、本市のスポーツ施設が将来にわたって求められる機能を十分に果たしていくため、令和4年度、スポーツ施設再編検討基礎調査を行い、スポーツ振興と市全体のまちづくりが連動した新たなスポーツ施設の再編を目指す。

南花台UR跡地、公園整備について。

問 公園遊具の設置について。

答 地域へのアンケート調査や公聴会、公園ワークショップなどを重ね、地域の皆様の意見、提案を伺った。インクルーシブ遊具についても、地域の意見や他市の事例を研究しながら設置の検討を進め、市民が多様な目的で活用できるインクルーシブな公園整備を目指す。

問 安心して利用できるウォーキングコースやジョギングコースの設置を検討しているのか。

答 多くの方がウォーキング等の途中の休憩場所として既存公園を利用している。既存公園の再整備も含め、まち全体でウォーキング等を楽しむ事ができる環境整備を検討する。



大阪狭山市副池オアシス公園インクルーシブ遊具

安心して住みよい河内長野市へ！



大阪維新の会
吉竹 英行



市民が納得できる対応を！



大阪維新の会
西田 善延



下水道使用料の賦課漏れ及び下水道事業受益者負担金の徴収漏れについて。

を建設する予定と聞いているが、治安面（風紀面）での対策についてはどのような見解か。

原因を具体的に説明せよ。

地域自治会や防犯関係団体等、地域の皆様と共に風紀の乱れや安全面への対策を検討していく。

使用料の賦課漏れについては、排水設備等を担当する課と使用料の徴収等を担当する課の間で、情報共有や連携体制が不十分であったこと、料金システムへの入力漏れ、確認体制の不備等があったと考えている。受益者負担金の徴収漏れについては、負担金の徴収猶予期間満了後において、徴収猶予期間の延期や負担金納付のための手続等の事務処理が適正でなかったことが原因の一つと考えている。

道路整備を行うよりも、公共交通事業者と連携して、公共交通での来訪を促し、地域内への交通流入の抑制に努めていく。

治安面に関し、例えば防犯のプロである警察に相談しているか。

治安面に関し、例えば防犯のプロである警察に相談しているか。

再発防止策について。

まだ警察との協議は進めていないが、今後、計画が具体的にいった段階で、交通対策も含めて、警察と協議する予定である。

全容の解明に向けた調査を鋭意進め、その結果を踏まえて、再発防止策や責任の所在についても明らかにしていきたいと考えている。

南花台のまちづくりについて。



サッカースタジアムイメージ

サッカースタジアム

教育立市に相応しい学校づくりを



民党・市民クラブ 無所属議員の会
堀川 和彦



小中学校の充実した教育実施のために教員のなり手不足の解消を。

本市の状況と、児童・生徒への影響は。

年度当初は欠員がなかったが、年度途中で退職者が出たため、当該校では教員間の互いのサポートで学習活動に影響がないように取り組んでいるが、並行して臨時的任用教員を探しているところ。新規採用については府教育委員会の所管なので、正規採用数の確保を要望していくとともに、市として大学連携によるインターンシップ事業等により、教員を目指す人材確保の取り組みを進めていく。

教員の長時間労働の問題と、中学校のクラブ活動についての今後の課題と対策は。

国から働き方改革の徹底が通知され、本市ではタイムレコーダー導入による在校時間の把握、一斉学校閉庁日の設定、ICTを活用した校務の効率化など、環境整備に

取り組んでいる。クラブ活動については教員の献身的な勤務で成り立っていたが、負担が大きいので、国から休日のクラブ活動の地域移行の方向性が示された。

市民の安心安全のために。

長年お願いしていた美加の台郵便局下の階段の滑り止め対策は。

階段の一部に滑り止めテープを施工し、有効性・耐久性の確認ができたので、令和4年度中に階段の半幅において施工する。

ごみの戸別収集の進捗状況は。

令和6年度を目標に取り組みを進めている。令和4年度は庁内外機関との協議や、自治会へのアンケート調査実施等を行う予定。

教育立市宣言のまちとして相応しい教育を



教育立市宣言のまちとして相応しい教育を

コロナ物価高騰から市民を守る市政を



公明党
奥井 良一



地方創生臨時交付金の活用方法について。

我が会派は、令和4年5月19日に「地方創生臨時交付金の創設を受けた重点要望」を市長、教育長に提出した。市としての地方創生臨時交付金の活用方法を問う。

市民生活や事業者の負担軽減に資する事業を検討した。

学校給食費等に係る食材費の値上がり分は、地方創生臨時交付金を活用して給食費に影響しないようにしていただきたい。

地方創生臨時交付金が物価高騰に伴う学校給食費等の負担軽減も対象と示されていることから、その対応を検討している。

教育課題について。

市の小中学校における不登校の状況は。

不登校生については、全国的にも増加してきており、市においても同様の傾向にある。不登校の要因も複雑化しており、対応が多岐にわたることから、教育委員会と

入室を希望する児童・生徒も増加しており、受入れ時間の拡大等、子どもたちの学校復帰に向けた活動の工夫も行っている。施設の老朽化も進んでいることや、教室数も少ないこと等も課題となっている。施設整備での課題解決に向けて検討していきたい。

マイナンバーカード普及加速へ、市民が喜んで安心して利用してもらうため、あらゆる世代の方に対応した市の受入れ体制を万全に行った上で、マイナンバーカード普及促進、デジタル化の加速を。

マイナンバーカードを
マイポイント



マイナンバーカードを取得してポイントをもらおう

中学校全員給食は自校方式で



日本共産党
宮本 哲



児童生徒の教育環境の拡充と安全対策を。

問 自校調理方式を選択肢に入れ、各学校に応じた調理場の設計など調査研究を進めよ。また、実施校の現場視察を。

答 河内長野市学校給食基本方針を踏まえ、調理提供の方式を含めた詳細な内容について、あり方検討委員会の資料等を基に関係部局と協議し、早急な実現に向けて進めていきたい。また、他市状況の把握も必要であるため、複数の現地視察も予定している。

問 石仏小学校、加賀田中学校入り口付近に運び込まれている土砂の量は、法的な視点で整理を。教育委員会は通学路へのダンプの通行を事前に知っていたのか。また、対策は講じたのか。安全対策は万全に。

答 土砂の搬入量は、10トンダンプ約100台分。府から行為者に土砂搬出の指導をしており、適正な処分等の対応を行う。運搬は事前に事業者から直接通知が



自校調理方式の
富田林市立明治池中学校

あり、登下校時の搬入抑制の申入れや安全対策を依頼。児童・生徒にも通学路の安全指導を行った。
問 下水道使用料賦課漏れ及び受益者負担金の徴収漏れについて。
答 長い期間の中で徴収漏れの実態が関係者に知り得る機会があったのではない。調査には第三者委員会の設置を。上下水道部だけでなく全庁的な調査をするべきではないか。
答 国の通達もあり、調査のきっかけは何度かあったが踏み切れなかった。第三者委員会設置については検討した上で決定したい。調査は全庁一体となって進めたいと考えている。
問 美加の台一丁目の階段の滑り止め対策は早く実施を。踊り場の清掃も。

市長の考える本市まちづくり方針は



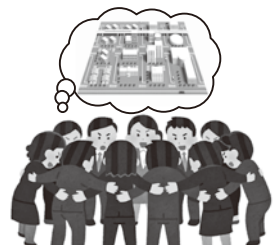
自民党・市民クラブ 無所属議員の会
峯 満寿人



本市の基盤整備の進捗状況と今後の展望は。

問 大阪南部高速道路、堺アクセス道路、ふるさと農道について。
答 大阪南部高速道路は、新広域道路交通計画で高規格道路の調査中路線に位置づけられた。堺アクセスは小山西地区活性化協議会と連携し、まち開きに合わせ開通できるように取り組む。ふるさと農道は、事業費ベースで95%、工事着手延長ベースでは100%。令和5年度中の事業完了及び供用開始を予定。

問 河内長野駅前シンボルロードと東西市有地利用について。
答 平成29年度に策定したまちづくり方針に向けた課題や関係者の意向等を把握し、具体化に向けた取組みへの理解を得たい。河内長野駅前線は、課題や意向等を府とも共有し課題解決への協議を重ねていく。ノバティ平面駐車場と保健センター跡地は、地域の声を聞き、周辺地域と一体での民間活



各課連携で相乗効果の高い
まちづくり推進を

用を見据え、有効活用を進めていく。
問 赤峰市民広場、小山西地区・上原・高向地区の産業用地創出について。
答 赤峰市民広場は、事業者の詳細なニーズの把握と周辺への説明などを進め、小山西地区は令和4年度末までに土地区画整理準備組合の設立を目指す。上原・高向地区は年内の土地区画整理組合の設立に向け進められている。
問 スポーツ施設再編検討基礎調査について。
答 委託事業者を選定し、7月上旬からの業務実施に向け進めている。今後は、スポーツ振興やまちづくりと連動したスポーツ施設再編の基本構想策定に向けて、利便性や発展性等の観点から検討したい。

核共有は非核平和都市宣言と合致しない



日本共産党
丹羽 実



非核平和都市宣言について。

問 ウクライナ侵略を機に「核共有」に関して維新の会や自民党内から提言されている。これは「非核平和都市宣言」をしている当市の立場とは相容れないと思うがどうか。
答 本市では、平和首長会議に加盟する等、市民へのさらなる非核・平和意識の醸成に努めてきた。今後も、本市の非核平和都市宣言の決議を尊重していく。

問 令和4年度の市・府民税特別徴収税額の決定通知書の誤通知と加齢性難聴による高齢者補聴器助成制度について。
答 なぜ誤通知が発送されたのか。その数と原因は。

問 令和4年度は、申告期限内に確定申告書を提出されたにもかかわらず、コロナの影響で確定申告の時期が1か月延長されたことなどにより、税務署から届く申告データが遅延し、短期間で大量の件数を処理する必要



核共有ダメ

が生じたため、約300件について、システムへ反映できていなかった。
問 補聴器購入費の助成制度の創設は。
答 補聴器の利用は、加齢性難聴者の生活の質の改善に資するものと認識している。国の研究や他市の動向を注視するとともに、国や府において公的補助制度の創設をされるよう要望していく。
問 高齢者おでかけ支援は令和5年度も年額2千円にすべきでは。
答 今回の拡充は、コロナで影響を受けた市民生活を応援するため、国の臨時交付金を活用し実現できたものであり、拡充した事業の効果や利用実績、国の動向等を勘案しながら検討していきたい。

ペットは家族同然であるからこそ



公明党
三島 克則



6月1日に施行された改正動物愛護管理法の取り組みについて。

マイクロチップ装着の安全性やメリットについての周知は。

日本獣医師会によると、国内で動物体内に埋め込んだマイクロチップの副作用、ショック症状等の報告は、今まで1件も寄せられていないと聞く。災害や事故等で飼い主と離れ離れになった際、飼い主の元へ返還できる可能性が高くなるため、広報紙やホームページで周知している。

マイクロチップリーダーの準備は。

購入を前向きに検討したいと考えている。

現在配布している「たすかるノート with PET」は重要な役割を果たすと考えるが、見解は。

国・府の動向を注視しながら、マイクロチップの普及促進と併せて、たすかるノート等を活用したペット防災の周知啓発を実施し、動物愛護に



マイクロチップの装着を

資する取り組みを進めたいと考えている。

下水道使用料の賦課漏れ及び下水道事業受益者負担金の徴収漏れについて。

多大な損失を被ったことは誠に遺憾である。全容解明と再発防止は当然のことである。市の過去の事件から一体何を学び、どのような反省を踏まえ、職務に従事してきたのか。

全庁一丸となって全容解明に向けた調査を進める。結果検証を踏まえ、コンプライアンス体制の見直し等を行い、具体的な事務処理の改善、実態に応じた規則改正、職員意識改善、組織体制の見直しなど、徹底した再発防止策を講じ、失われた市民の信頼を回復していきたい。

物価高騰による家計負担の軽減を



大阪維新の会
土井 昭



安心して生活ができ、住み続けられるまちづくりの推進を。

南海バス石見川線廃止に伴い、令和4年4月から運行中の地域バスの今後の運営を問う。

利用者の声をしっかりと聞きながら、地域と共にニーズに応じた移動手段の確保に努める。

原油価格や物価がウクライナ情勢や円安の影響で高騰を続ける中、家計負担の軽減と地域経済の活性化対策を問う。

広く家計負担の軽減につながる事業や、市民生活への支援と地域経済の活性化を一体的に図る事業などの実施を予定している。

物価高騰の影響を受けた子育て世代の支援として、学校給食費の無償化を図ってはどうか。

厳しい財政状況により給食費の無償化は困難と考えている。一方で、国の交付金を活用した対応を検討している。

ゼロカーボンと電力供給の逼迫に備えた対策は。



物価高騰への支援を

再生可能エネルギー普及の取り組みを問う。

公共施設の新設や大規模改修を行う際には、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの導入を積極的に図ってきたい。

廃棄物発電の導入について問う。

廃棄物発電に関する先進事例などについて、関係機関と情報共有等に努めていきたい。

市役所や公共施設等での令和4年夏の節電・省エネ対策について問う。

ESCO事業による省エネ効果に加えて、窓を閉鎖しての空調運転を再開することで、節電・省エネ化に努める。

子ども真ん中社会実現に向けて



公明党
大原 一郎



こども家庭庁の設置法案成立を受け、市も必要な子ども政策を全庁挙げて大胆に打ち出す時が来た。

子ども医療費の拡充を急げ。

市としても子ども医療費の拡充は重要課題だと認識している。持続可能な財源確保のため府の政策と関連付け実施したい。

放課後児童会の支援員確保や運営体制の強化策は。

現行の任用制度を基本とし、報酬アップや研修制度の充実を図りたい。

障がいを持つ児童やヤングケアラー等の対応策は。

子どもがSOSを発信しやすくするために、身近な教員等への研修等を実施し、意識の向上及び早期発見に努め、さらに関係機関と連携し、包括的な支援制度の構築を図っている。

アマチュア無線の活用について。

アマチュア無線は総務省が定義を明確化し、社会貢献活動にも活用で

きるようになった。市はアマチュア無線団体等と災害時応援協定等を通じて、今後、地域イベントやボランティア活動等でも市域アマチュア無線団体等と連携すべきではないか。

本市においては災害時の通信手段はすでに複数確保しているので免許取得が条件となるアマチュア無線の導入は困難と考えるが、今後アマチュア無線団体の方とどんな連携が可能か話し合いの場を設けたい。

喜多町635番地に掲げられた開発計画を見ると2つある進入路となる道はどちらも幅員約2mしかない。事故のない安全で望ましい住環境整備に細心の注意を払え。



放課後児童会の様子



皇党・市民クラブ 無所属議員の会
奥村 亮



徹底的な原因追及と再発防止を

下水道事業に関わる賦課漏れ・徴収漏れについて。

問 賦課漏れの原因について問う。

答 各課の情報共有・連携が不十分であったこと、システムへの入力漏れなどが原因と考えている。

問 徴収漏れの原因は。

答 各種手続の事務処理が適正に行われていなかったことが原因と考えている。

問 気付けるチャンスはあったと考えるがどうか。

答 チャンスはいくつもあったと考える。

問 隠ぺい体質だと言わざるを得ない。今回を良い機会と捉え本市のウミを出し切って欲しい。

答 職員一人一人が自らの問題と捉え直し、市全体の改革のチャンスと捉え、しっかりと調べていく。

問 この問題は、市民から市政に大きな疑念を抱かせた。だからこそ、市職員には、原因追及と再発防止の徹底を図っていたべき。自分の仕事で未来の河内長野を創っている」との自負を持って業務に

取組んでいただきたい。

デジタル田園都市国家構想を活かした施策立案を。

問 本市が考えるデジタル田園都市構想とは。

答 デジタル技術の活用により、細やかな住民サービスを展開することで生活の質向上に繋げていくことが重要と考えている。

問 デジタル化を推進する上での人材は十分か。

答 現在の体制では十分でないことから、デジタル化推進体制を強化していきたいと考えている。

問 デジタル人材の採用予定はあるか。

答 デジタル人材の採用も含めて考えていきたい。令和4年度の「モックルコイン」事業について。



失敗は成功の基



皇党・市民クラブ 無所属議員の会
道端 俊彦



未来を創る。改善と改革の違い！

千代田中学校地区（楠小学校、千代田小学校地区）で発生する令和3年来的大規模な水害被害を防ぐ抜本的な対策を行い、市民の暮らしを守れ。

問 原地区部落有財産（通称念仏池）処分について議論、調査、地域住民等への説明は十分になされたか。

答 庁内で議論が十分にされたかどうかというのは、明確には分からない。

問 市民の財産、生命、身体を守るのが行政の役目である。抜本的な対策を行え。

答 部局連携し台風時期、夏に備えて出来る限りの対応をしたい。

行政の信頼を著しく失墜させた下水道使用料の賦課漏れ及び下水道事業受益者負担金の徴収漏れ（合計約2.2億円）について。

問 2年前から他市は国からの通達があり、下水道料金の賦課漏れ・受益者負担の徴収漏れが多く発覚しているのに、なぜ調査を実施しなかったのか。



工藤 敬子



自分自身を好きでいられるサポートを

小中学校での不登校の対応について。

問 学校に通うことが困難となった子どもたちに、市が行っている取組は。

答 スクールカウンセラー等の専門スタッフの配置や校内適応指導教室の設置など、不登校傾向にある子どもへの早期対応に取り組んでいる。また、本市全域をカバーする適応指導教室においても、指導員の増員による受入れ体制の充実を図っている。将来、社会的に自立し充実した人生を過ごしていくため、専門機関やフリースクール等の民間施設とも連携し、子どもと保護者に寄り添った支援に努め、取組の充実を図っていく。

問 他市で実績のある、校内フリースクールの取組について。

答 校内フリースクールに取り組まれている自治体の様子も研究しなければならぬと思っているが、まずは今現状ある校内適応指導教室をより充実させていくことに努め

ていきたい。

地域猫活動について。

問 自治会・町会がないエリアも支援できるのか。

答 現在、制度構築の途上なので、色々な形で支援を考えていきたいと思っている。本格的に取組がスタートしてまだ2年目であり、河内長野市版の制度構築に努めていきたい。

問 個人で活動されている方たちがどうぶつ基金TNR（※1）チケットを欲しい数だけもらえないという現状がある。行政枠チケットをできるだけ早く、現在活動しておられる方、実績のある方にお渡しできる仕組みづくりを。積極的に活動されている近隣市と情報共有し、一緒に取組んで欲しい。



子どもたちに誇れる未来を！



民間とも連携し、すべての子どもに寄り添った支援の実現を！

※ 1TNR…「Trap/捕獲し、Neuter/不妊去勢手術を行い、Return/元の場所に戻す」の略称。

住み続けられる体制を早急に構築せよ



公明党
浦山 宣之



誰もが病院や買い物等の生活の手段に困らないまちへ。

問 公共交通とそれをつなぐ移動支援網の構築が急務である。地域公共交通会議等で福祉部局ともしっかり連携を。

答 バス停から自宅までのラストワンマイルと呼ばれる短距離の移動が困難になる課題がある。社会福祉協議会など関係機関と連携し、必要に応じて地域公共交通会議で議論を交わしたいと考えている。

問 美加の台地区など移動支援等が展開されているが担い手不足が課題である。新たな対策を。

答 モックルコイン事業や人材バンク登録制度等、新たな支援方策の研究を行う。

問 マース(※1)について、地域課題解決はどう想定しているか。

答 バスや電車に乗りやすくするため、モックルカード(※2)をスマホ上などで利用できるようにし、移動を安く簡単にす



支えあいとデジタル化の融合で住み続けられるまちへ

る方法等を検討している。
問 南青葉台地区のフリー乗降を他地域にも導入を。
答 安全性の確保など慎重に判断する必要がある。子どもたちが一人ひとり輝くまちへ。
問 保育士確保に非常に苦労している。確保強化を。
答 年度当初に必要な保育士を確保できるような補助金等を検討していく。
問 土日の中学校部活動の地域移行の進捗は。
答 地域移行の実施の可能性を探るため関係機関等と連携し、まずは1校1部活での試験的な取組の検討を始める考えである。活気あるまちづくりのためのモックルコイン事業は持続可能か。

河内長野を「日本一優しいまち」へ



若林 靖



シティ・プロモーションの概念を取り入れて、中期・長期計画で「営業」という観点で取り組むべき。

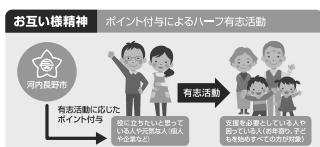
問 市の持つ経営資源に合わせた戦略的施策について。

答 他市にないものを多く持っており、プロモーションしていくが、人口減少、高齢化によって空き家がたくさん増えてくるため、転入促進はこのタイミングでやらなければならない。

問 お金がない中でどこに経営資源を有効活用するか。「選択」と「集中」が戦略的に必要であるがどうか。

答 まちづくりという意味で、定住人口を増やしていくのは難しいが、維持していかないとけない。高齢者にやさしいまちづくりというのにも実際やっていけないといけないが、イメージ戦略という意味では、子育て世代にきていただきたい。

「お年寄りに優しいまち」にすべくボランティア活動参加利用促進について。



ボランティア活動を「お互い様精神」で行えるような仕組みづくり

問 担い手の人材確保に苦労している。人材確保支援策の仕組みとしてボランティア参加者へのポイント付与は。
答 参加者へのポイント付与制度の研究も含め、新たな支援策について検討を行い、担い手の確保につなげることで住民同士が共に支え合う優しいまちを目指す。
問 IT構築による地域活動の見える化の促進検討について。
答 地域活動のデジタル化を推進し、役員や参加者の負担軽減、見える化を図る。潜在的な担い手の確保を行うことが必要である。自治会役員等を対象としたスマホ講座を実施し、活動の負担軽減への取組を進める。

◆傍聴のお知らせ◆



【本会議の傍聴】

本会議の当日、傍聴受付にて本会議傍聴券を受け取り傍聴席にご着席ください。

一般：46席(※)、車いす席2席分、報道記者席10席

【委員会の傍聴】

委員会の当日、議会事務局にて委員会傍聴券を受け取り傍聴席にご着席ください。

一般：20席(※)、報道記者席5席

市ホームページでは、傍聴までの流れが写真で確認できます。また、本会議・委員会の様子は庁舎1階の市民ロビーでも生中継しています。

※状況により、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、間隔をあけて着席していただくため、傍聴の座席数を減らすことがありますのでご理解いただきますようお願いいたします。

※1 マース (MaaS: Mobility as a Service) …地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。
※2 モックルカード…南海バス(河内長野エリア)を、便利にお得に回れる1日乗り放題のフリーカード。

◆市議会ホームページのご案内◆

インターネットで次のような情報をご覧いただくことができます。



市議会 HP

◇議会録画中継◇

本会議や委員会の様子を録画で配信しています。録画映像は会議終了後からおおむね1週間程度でご覧いただけるようになっております。また、パソコンのほかスマートフォンやタブレット端末等からも視聴いただけます。

◇会議録◇

市議会ホームページから会議録検索システムを利用して、平成2年以降の本会議および平成6年以降の委員会の会議録がご覧いただけます。

◇議員の紹介◇

全議員の氏名・住所・顔写真などの情報がご確認できます。

◇議会Q&A◇

よくある質問をQ&A形式で掲載しています。

議会日誌 (令和4年6月～)

6月22日	本会議(第2日)
23日	議会運営委員会 本会議(第3日)
27日	各派幹事長会議
28日	総務常任委員会 予算常任委員会
29日	議会運営委員会
30日	本会議(第4日) 予算常任委員会 議会運営委員会
7月20日	広報委員会
28日	各派幹事長会議
8月 4日	広報委員会

訃報

さ の さぶろう
佐野 三郎 元議員

令和4年6月25日に逝去されました。87歳。
佐野氏は昭和61年4月29日から連続3期、12年にわたり河内長野市議会議員として活躍されました。

この間、議会運営委員会委員長をはじめ総務常任委員会委員長や予算特別委員会委員長などの要職を歴任され、市政発展に貢献されました。

9月定例会の日程(予定)

9月1日(木)	午後1時	本会議
12日(月)	午前10時	本会議 (一般質問)
13日(火)	午前10時	本会議 (一般質問)
15日(木)	午前10時	福祉教育 常任委員会
	午後1時	都市環境・経済 常任委員会
16日(金)	午前10時	総務常任委員会
	午後1時	予算常任委員会
20日(火)	午前10時	決算常任委員会
21日(水)	午前10時	決算常任委員会
22日(木)	午前10時	決算常任委員会
27日(火)	午後1時	本会議

詳しくは☎53-1111(市役所代表)
議会事務局へお問い合わせください。



市議会 Q&A

市議会によく寄せられる質問を集めました。文中に「本会議」「委員会」等の専門用語が出てくる場合がありますが、次頁に「議会用語の基礎知識」が掲載されていますので、そちらもあわせてお読みください。



よくあるご質問

問 市議会はどのような仕事をしているのですか？

答 市議会の最も重要で基本的な役割は、予算や決算、条例など市の重要事項について、市民の代表として、市の最終的な意思決定を行うことです。市議会は議案に対して議決という形で意思決定を行います。実際の議会活動においては単に可否の決定を行うだけでなく、審議の過程で各議員が様々な質疑、意見表明等を行うことによって、市が実施すべき施策や市の進むべき方向に重要な関わりを持っています。

問 市議会の開催日は？

答 市議会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催される「定例会」と、必要に応じて開催される「臨時会」があります。定例会はそれぞれ約1か月間開催され、原則として定例会の会期中に本会議や委員会を開きます。定例会及び臨時会の詳細な日程は、市議会ホームページ等でお知らせしています。

問 市議会への提出議案や議決結果を知る方法は？

答 市議会ホームページに提出議案や議決結果に関する最新の状況を掲載していますのでご覧ください。また、市議会だよりにも同様の情報を掲載しています。

問 一般質問の内容を知りたいのですが？

答 各議員の一般質問の内容は、市議会ホームページからご覧いただくことができます。また、一般質問の当日（原則として本会議の第2日・第3日）に傍聴に来られた

方には、質問内容を印刷した「質問通告書」を配布しています。

問 市議会の会議を傍聴することはできますか？

答 市議会の会議は誰でも傍聴できます。本会議の傍聴は、議会傍聴用入口へお越しください（傍聴席は一般46席・先着順）。委員会の傍聴は、議会事務局へお越しください（傍聴席は一般20席・先着順）。いずれも住所・氏名等の記入は不要で、傍聴券を受け取るだけで入室できます。

問 市議会議員の連絡先を知りたいのですが？

答 市議会ホームページの「議員の紹介」から、議員の自宅住所・電話番号等がご覧いただけます。ホームページが閲覧できない場合は、議会事務局へお問い合わせください。

問 議員と面談するには？

答 控室に在室中の議員との面談を希望される場合は、市役所2階の議会事務局へお越しください。来客中等の理由により面談できない場合もありますので、来訪前に議会事務局へお電話いただき、議員の予定を確認されることをお勧めします。

問 市議会に要望（請願や陳情）を出す方法は？

答 請願・陳情は市政等に対する要望を文書で市議会に提出する制度です。市議会議員の紹介のあるものを請願、紹介のないものを陳情と呼びます。請願は必ず市議会議員1人以上の紹介を受けてください。

請願・陳情を提出する際は議会事務局へご持参ください。市役所開庁時間中はいつでも受け付けますが、直近の定例会での審査を望まれる場合は、締切の関係がありますので、事前に議会事務局へお問い合わせください。請願・陳情は書式例を参考に作成してください。書式例は市議会ホームページからダウンロードできます。

問 意見書を出す方法は？

答 意見書とは、地方公共団体の公益に関することについて、議会がその意思を意見としてまとめた文書のことです。議会はこうした地方公共団体の公益に関する意見書を、国会や関係行政庁に提出することができます。意見書採択までの流れは以下のとおりです。

- ①意見書に必要な一定の体裁を整えた書面を議会事務局に持参してください。意見書は書式例を参考に作成してください。書式例は市議会ホームページからダウンロードできます。
- ②受け付けた意見書は、各会派の幹事長による会議で内容が検討されます。
- ③検討の結果、全会派が賛成であれば、市議会の議決を経た後、国会や関係行政庁へ市議会の意見として意見書を送付します。



議会用語の基礎知識

よく使われる議会用語を載せています。市議会だよりを読む際の参考にしてください。

○ 条例 (じょうれい)

地方自治体が自治権によって定める自主法の一つ。条例の制定や改正、廃止は原則として議会の議決で成立し、市長が公布を行うことで効力を生じます。条例を議案として提案する権利は、市長はもちろん議員や委員会にもあります。

○ 議決 (ぎけつ)

案件に対して、議会が「可決」や「否決」等の意思決定を行うことをいいます。議決には出席している議員の半数を超える賛成または反対が必要で、賛成・反対が同数のときは議長が決定します。特定の案件については、出席議員の3分の2や4分の3以上の多数の賛成が必要になることもあります。

○ 定例会 (ていれいかい)

議案の有無にかかわらず、定期的に招集される議会のことです。定例会は3月・6月・9月・12月の年4回招集されることになっています。

○ 臨時会 (りんじかい)

定例会以外に必要なとき、特定の事件に限り審議するために招集される議会です。

○ 本会議 (ほんかいぎ)

議員全員が議場に集まって会議をすることを本会議と言います。本会議では議長の議事運営により議案や予算・決算等を審議し、議会の最終的な意思を決定します。

○ 委員会 (いいんかい)

本会議に提出された議案等について、詳しく審査や調査をするための機関です。議会に提出された議案の議決は本会議で行われますが、すべてを本会議で審議すると時間がかかり、詳細に審議することができないため、議案等を委員会が分担し、専門的・能率的に審査します。

河内長野市議会では、5つの常任委員会(福祉教育、都市環境・経済、総務、予算、決算)と議会運営委員会を設置しており、必要に応じて特別委員会を設置することがあります。

○ 一般質問 (いっぱんしつもん)

議員が本会議で、市長などの執行機関に対して、市政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について幅広く質問することです。一般質問には、会派に所属する議員1名が会派を代表して行う代表質問と、議員個人が行う個人質問があります。

○ 傍聴 (ぼうちょう)

議員以外の方が、議場や委員会室で会議を直接見聞きすることです。河内長野市議会では本会議、委員会ともに傍聴券を受け取るだけで傍聴が可能で、住所や氏名等を記載いただく必要はありません。

○ 請願 (せいがん)

国や地方公共団体等に対して、その所管する事項に関し、一定の措置等の希望を申し出ることをいいます。市議会に対して請願するときは、議員の紹介により請願書を提出する必要があります。

○ 陳情 (ちんじょう)

一定の事項に利害関係がある者が、その事項についての実状を訴えることにより、国や地方公共団体等に対して何らかの措置等を求めることをいいます。陳情は、請願とは異なり、議員の紹介は必要ありません。

○ 意見書 (いけんしょ)

地方公共団体の公益に関する事件に関し、地方公共団体の機関としての議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。意見書は、国会や関係行政庁に提出することができます。

○ 会派 (かいはい)

主義主張を同じくする議員が、議会内で結成したグループのことを言います。

市議会だよりの の疑問

Q 市議会だよりってなに？

A 議会で決まったことや、議員が質問したことなどを知らせるための広報紙です。



いつも皆さんが読んでいる
「かわちながの市議会だより」の
裏側についてご紹介します

Q 表紙の写真はどうやって
決めているの？

A 表紙写真は、観光写真コンクール
の入賞作品から発行時期に応じた写
真を選出し、広報委員会で決定し
ます。

Q 年に何回発行しているの？

A 3月、6月、9月、12月の年4回
です。4年に一度の改選がある年
は改選臨時号を発行します。

Q 議会だよりができるまでどんな
作業をしているの？

A 作業期間：約2か月半

第1回目の広報委員会

編集方針や表紙写真、掲載記事の内容
を決定

一般質問をした議員へ原稿作成依頼
広報委員は原稿と反訳文(※)を照合

第2回目の広報委員会

広報委員で照合した結果、反訳文からの
過大な転記や表記誤り等、原稿と反訳文
が相違しているものについて協議し必要
に応じて修正を行う

レイアウト見本完成

第3回目の広報委員会

記事内容の最終確認

印刷・製本・納品

完成
(ポスティングにより市内全世帯へ)

※反訳文…録音した会議を文字おこしたもの

